

【第2期教育振興基本計画】

たくましくしなやかな子どもたち

- ・確かな学力、豊かな心・感性、健やかな体
- ・自ら考え、行動できる。
- ・様々な視点で物事を見ることができ、他人の考えを受け入れ、協力し合いながら、問題解決ができる。
- ・社会性を備え、地域社会や世界で活躍する。



【学校教育目標】

活力にあふれた子ども

【目指す子ども像】

進んで学び、進んで考え、よりよい自分を創造する子ども

自己有用感を持ち、校外のさまざまな場面で自分の力を発揮する子ども

時と場や相手のことを考えてコミュニケーションできる子ども



【教育課題】

- ・確かな学力の育成
- ・自己有用感と思いやりの心の育成
- ・郷土愛・地域へ貢献する態度の育成

【重点目標】

一歩前にふみ出そう

【目指す学校像】

- ・子どもが主役となる学校
- ・職員も共に活動する学校

- ・誰からも愛される「地域の学校」

主体性を育む

有意義な体験的活動の推進

- 体験のその先にある目標を意識した計画立案と実行
- 他校との交流教育を通し、よりよい自分を演出
- 井川こども園との連携
- 成功体験だけでなく失敗から学ぶ姿勢

子どもが主役となる行事・活動の推進

- 自ら学校生活を創造する児童生徒会活動
- 自己有用感の高揚と人間関係調整力の向上

<キーワード>

- ・有意義な体験的活動
- ・自己有用感の高揚
- ・人間関係調整力の向上
- ・成功と失敗体験
- ・こども園との連携

総合「ふるさと井川学習」を基盤とした特色ある学校づくり



学びに向かう力を育む

授業改善により、子どもの学びに向かう力を確実に向上させていく

「確かな学力」の定着と授業改善

- 付ける力を明確にした単元構想と授業づくり
- 問題解決的学習の推進による「できた・分かった」を実感できる授業
- ICTと人材活用による学習の意欲化

一人一人の個性を生かした授業づくり

- 良さを伸ばし苦手を克服するための学習の工夫
- 個性が発揮できるような場づくりや教材提示等個別最適な学習の試み

<キーワード>

- ・問題解決的学習
- ・教材研究と開発
- ・ICTや人材の活用
- ・個別最適な学習

自然や人々から生き方を学び、ふるさとに寄せる思いを醸成する



豊かな心を育む

豊かな自然や人々から生き方を学ぶ

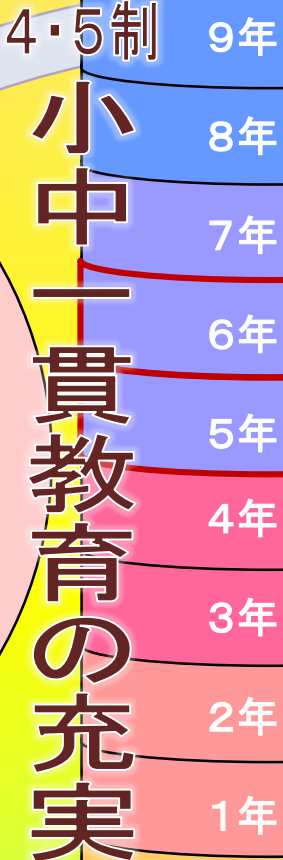
- 井川や南アルプスの大自然の良さや偉大さを体感
- 自己を見つめ、これからの生き方について考えるためのキャリア教育や道徳教育の推進

「ふるさと井川」を意識した活動の充実

- 総合的な学習の時間や生活科を通した「ふるさと井川学習」の実施、井川人(びと)との交流
- 井川に誇りを持ち、活動を通して自信をもつ

<キーワード>

- ・南アルプス
- ・キャリア教育
- ・ふるさと井川学習



環境と小中との交流を意識した幼児教育の推進

学びの準備期

軸となる環境教育

井川小中学校運営協議会「コミュニティ委員会」

【委員】

- ・保護者代表
- ・地域代表
- ・学識経験者
- ・学校職員

- ・保護者
- ・地域の皆さん

説明

意見

説明

承認

説明

意見

校長、職員

学校運営の基本方針

学校運営・教育活動

地域住民の学校運営参画

地域とともに歩むコミュニティ・スクール

家庭・地域・学校の情報共有